

法政大学大学院 人間社会研究科

修士課程

福祉社会専攻

修士課程

臨床心理学専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

人間福祉専攻



“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”(Life)をトータルに捉えた教育研究によって、
高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、
新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONALの育成をめざします。

専任教員 人間社会研究科 (2019年度)



博士(学術)

布川 日佐史 教授

(ふかわ ひさし)

人間社会研究科長

研究領域：公的扶助、雇用政策

担当科目：「社会思想史研究」「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『生活保護の論点』(単著、山吹書店)、『現代の貧困と公的扶助』(共著、高宮出版)、『雇用政策と公的扶助の交錯』(共著、御茶の水書房)、『就労支援』(共著、ミネルヴァ書房)、『Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung』Nomos Verlag, 2012(共著)

学会活動：貧困研究会代表

福祉社会

人間福祉

修士課程

福祉社会専攻

修士課程

臨床心理学専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

人間福祉専攻



石井 享子 教授 (いしい ゆきこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：保健福祉学、公衆衛生学、well-beingと人材育成

担当科目：「保健医療福祉システム特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『保健福祉学—利用者の立場に立った保健福祉サービスの展開』(共著、川島書店)、『保健福祉におけるトピマネジメント』(共著、中央法規)、『看護と介護—連携と協働への示唆』(単著、日本看護協会出版会)

学会活動：日本公衆衛生学会、米国老年科学学会、介護福祉教育学会等



博士(社会福祉学)

伊藤 正子 教授 (いとう しょうこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：社会福祉方法論、医療福祉論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助

担当科目：「ソーシャルワーク理論研究特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『現場で磨くケースワークの技—「バイステックの原則」を基に』(共著、現代書館)、『生活支援の福祉学』(共著、有斐閣)、『現代社会と福祉—社会福祉原論—』(共著、ミネルヴァ書房)

学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、東京都医療社会事業協会、日本移民政策学会



岩崎 晋也 教授 (いわさき しんや)

福祉社会

人間福祉

研究領域：社会福祉原理、社会福祉思想

担当科目：「社会福祉学特論Ⅰ」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『援助するということ』(共著、有斐閣)、『社会福祉をつかむ』(共著、有斐閣)、『福祉原理—社会はなぜ他者を援助する仕組みを作ってきたのか』(単著、有斐閣)

学会活動：日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会



博士(教育学)

岩田 美香 教授 (いわた みか)

福祉社会

人間福祉

研究領域：児童・家族福祉論、教育福祉論

担当科目：「児童福祉特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果』(共著、感情心理学研究17(3))2010年、『感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版 Affective Control Scaleの作成を通して—』(共著、感情心理学研究18(1))2010年他

学会活動：日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本家族社会学会、日本司法福祉学会等



博士(教育学)

小野 純平 教授 (おの じゅんぺい)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学

担当科目：「心理的アセスメントに関する理論と実践」

「臨床心理査定演習Ⅱ」
「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『子どもを理解する』(共著、へるす出版)、『臨床心理学30章』(共著、日本文化科学社)、『日本版KABC-IIマニュアル』(共著、丸善出版)、『リハビリテーション患者の心理とケア』(共著、医学書院)

学会活動：日本K-ABCアセスメント学会(理事長代理)、日本心理臨床学会、日本内観学会(常任理事)、日本LD学会等



博士(人間科学)

金築 優 准教授 (かねつき まさる)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、認知行動療法

担当科目：「臨床心理学特論」「心の健康教育に関する理論と実践」

「心理実践実習」「臨床心理実習Ⅱ」
「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果』(共著、感情心理学研究17(3))2010年、『感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版 Affective Control Scaleの作成を通して—』(共著、感情心理学研究18(1))2010年他

学会活動：日本認知・行動療法学会、日本感情心理学学会、日本パーソナリティ学会、日本心理学会、日本心理臨床学会等



久保田 幹子 教授 (くぼた みきこ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、心理療法(森田療法、カウンセリングなど)、心理査定

担当科目：「臨床心理基礎実習」「医学心理学特論」

「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『臨床精神医学講座5 神経症性障害・ストレス関連障害』(共著、中山書店)、『心理療法ブライマーズ「森田療法」』(共著、ミネルヴァ書房)、『こころの医学事典』(共著、講談社)、『カウンセリングプロセスハンドブック』(共著、金子書房)、『女性はなぜ生きづらいつのか』(共著、白揚社)他

学会活動：日本森田療法学会(常任理事、編集委員、研修委員)、日本サイコロセラピー学会(理事、編集委員)、日本心理臨床学会等



博士(人間福祉)

佐藤 繭美 教授 (さとう まゆみ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)

担当科目：「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「福祉社会研究法」

「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク』(単著、明石書店)、『自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10』(共著、星和書店)

学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等



博士(知識創造論)

佐野 竜平 准教授 (さの りゅうへい)

福祉社会

研究領域：インクルーシブな国際協力・アジア地域開発、障害と開発、東南アジア

担当科目：「国際協力特論」

主な著書：『改正発達障害者支援法の解説 コラムおよび参考資料』

学会活動：全国社会就労センター協議会、JAPAN NGO Network on Disabilities Southeast Asian Human Rights Studies Network



博士(経済学)

眞保 智子 教授 (まほ さとこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：若者支援論、就労支援、障害者のキャリアデザイン

担当科目：「障害者福祉特論」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『就労支援サービス』(共著、株式会社みらい)、『グローバル時代の社会学—社会学の視点で読み解く現代社会の様相—』(共著、株式会社みらい)、『キャリアデザイン支援ハンドブック』(共著、ナカニシヤ出版)、『障害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ』(単著、日本法令)

学会活動：日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会



末武 康弘 教授 (すえたけ やすひろ) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 臨床心理学、カウンセリング・心理療法
 担当科目: 「心理支援に関する理論と実践」「臨床心理面接特論Ⅱ」
 「臨床心理基礎実習」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「ロジャース主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究」(監訳、岩崎学術出版社)、「ジェンドリン哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)、「主観性を科学化する」質的研究法入門」(共編著、金子書房)、「心理学的支援法」(誠信書房)
 学会活動: 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling

博士(学術)



関司 直也 教授 (ずし なおや) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: 農業経済学、農山村政策論
 担当科目: ※2019年度はサバティカル(研究専念年度)です。
 主な著書: 「地域サポート人材による農山村再生」(筑波書房)、「人口減少時代の地域づくり読本」(共著、公職研)、「田園回帰の過去・現在・未来-移住者と創る新しい農山村」(共著、農文協)、「農山村再生に挑む」(共著、岩波書店)他
 学会活動: 日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究会、農村計画学会、日本村落研究学会

博士(農学)



関谷 秀子 教授 (せきや ひでこ) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 児童青年精神医学、精神分析学
 担当科目: 「保健医療分野に関する理論と支援の展開」
 「力動的心理療法特論」
 「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 学会活動: 精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、思春期青年期精神医学(運営委員)、児童青年精神医学(児童青年精神医学認定医)、子どものこころ専門医、日本精神神経学会(専門医、指導医)、日本心理臨床学会等

医学博士



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき) 福祉社会
 研究領域: 異文化コミュニケーション、英語教育、経営学(マーケティング)
 担当科目: 「原書講読研究」(2019年度非担当)
 学会活動: 英米文化学会



土肥 将敦 教授 (どい まさあつ) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、企業と社会
 担当科目: 「地域経営特論」「福祉社会研究法」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)2013年、「ソーシャル・エンタプライズ論」(共著、有斐閣)2014年、「ソーシャル・エンタプライズ:社会的企業の台頭」(共著、中央経済社)2006年、「CSR経営:企業の社会的責任とステイクホルダー」(共著、中央経済社)2006年
 学会活動: 組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム(Japan Forum of Business and Society)

博士(商学)



中村 律子 教授 (なかむら りつこ) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: 高齢者福祉論、高齢者福祉制度の比較研究
 担当科目: 「高齢者福祉特論」「福祉社会研究法」
 「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「ネバールの高齢者福祉制度と“sewa(世話)”という規範」荒木誠之他編「社会保障法・福祉と労働法の新展開」(295-312)信山社、「実践としてのコミュニティ-移動・国家・運動」共著、京都大学出版会
 学会活動: 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本社会学会

博士(文学)



長山 恵一 教授 (ながやま けいいち) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 比較精神療法、精神医学
 担当科目: 「臨床心理学研究法特論」「比較心理療法特論」
 「臨床心理系(心理・発達)特殊講義Ⅰ」
 主な著書: 「Naikan Therapy—Techniques and principles for use in clinical practice—」(共著、大道学館)、「内観法—実践の仕組みと理論」(日本評論社)、「森田療法と精神分析的精神療法」(誠信書房)、「依存と自立の精神構造—清明心と型の深層心理」(法政大学出版局)、「心理療法の本質—内観療法を考へる」(共著、評論社)
 学会活動: 日本内観学会(副理事長)、日本サイコセラピー学会(理事)

医学博士



丹羽 郁夫 教授 (にわい くお) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
 担当科目: 「心理臨床演習」「心理実践実習」「臨床心理実習Ⅱ」
 「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「コミュニティ心理学入門」(共著、ナカニシヤ出版)、「よくわかるコミュニティ心理学」(共著、ミネルヴァ書房)、「医療-看護-福祉のための臨床心理学」(共著、培風館)他
 学会活動: 日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学(常任理事、編集委員)、日本学生相談学会、日本社会心理学、日本心理学会



野田 岳仁 准教授 (のだ たけひと) 福祉社会
 研究領域: 環境社会学、地域社会学、観光社会学
 担当科目: 「地域環境特論Ⅱ」
 主な著書: 「生活環境主義のコミュニティ分析」(共著、ミネルヴァ書房)、「原発災害と地元コミュニティ」(共著、東信堂)、「Rebuilding Fukushima」(共著、Routledge)、「環境社会学の考え」(共著、ミネルヴァ書房)
 学会活動: 日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、観光学術学会、水資源・環境学会、日本生活文化史学会

博士(人間科学)



服部 環 教授 (はっとり たまき) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 教育心理測定学、心理データ解析
 担当科目: ※2019年度はサバティカル(研究専念年度)です。
 主な著書: 「心理・教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、「文系のためのSPSSデータ解析」(共著、ナカニシヤ出版)、「「使える」教育心理学」(監修・共著、北樹出版)、「Q&A心理データ解析」(共著、福村出版)
 学会活動: 日本教育心理学会、日本テスト学会(理事)、K-ABCアセスメント学会(常任理事)、日本心理学会、日本応用心理学会、日本行動計量学会

教育学博士



水野 雅男 教授 (みずの まさお) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: 都市住宅政策論、市民活動運営論
 担当科目: 「都市・住宅政策特論Ⅱ」「福祉社会研究法」
 「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「地方都市の再生戦略」(川上光彦編著、学芸出版社)、「生活泉」(日本建築学会編著、学芸出版社)、「北陸におけるリゾート開発の可能性」(共著、NIRA研究叢書)、「農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的研究」(農林水産政策研究所レビュー第55号)他
 学会活動: 日本建築学会、日本都市計画学会、日本予防医学学会

博士(学術)



宮城 孝 教授 (みやしろ たかし) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: 地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
 担当科目: 「地域福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「イギリスの社会福祉ボランティアセクター」(中央法規)、「コミュニティソーシャルワーク」(編著、有斐閣)、「新版地域福祉事典」(編集幹事、中央法規)、「地域福祉と民間非営利セクター」(編著、中央法規)、「ソーシャルワークと社会開発-開発的ソーシャルワークの理論と実践」(監訳、丸善出版)他
 学会活動: 日本地域福祉学会(副会長)、日本社会福祉学会

博士(社会福祉学)



望月 聡 教授 (もちつき とし) 臨床心理学 人間福祉
 研究領域: 神経心理学、認知行動病理学
 担当科目: 「教育心理学特論」「認知心理学特論」
 「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「臨床心理学研究法特論(18)」(共編著、放送大学教育振興会)、「スタンダード臨床心理学」(分担執筆、サイエンス社)、「高次脳機能障害Q & A 症候編」(分担執筆、新興医学出版社)、「心理学の「現在」がわかるブックガイド」(共著、実務教育出版)
 学会活動: 神経心理学(評議員)、高次脳機能障害学会(代議員)、心理学会(代議員)、パーソナリティ心理学(機関誌編集委員会委員)、心理臨床学会、感情心理学学会等

博士(学術)



保井 美樹 教授 (やすい みき) 福祉社会 人間福祉
 研究領域: 都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究
 担当科目: 「地方自治特論Ⅰ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
 主な著書: 「エリアマネジメント」(小林重敬編著、学芸出版社)、「地域は消えない」(岡崎昌之編著、日本経済評論社)、「都市再生のデザイナー-快適・安全の空間形成」(大西隆他編著、有斐閣)、「大都市圏再編への構想」(小玉徹編著、東京大学出版会)
 学会活動: 日本都市計画学会、日本計画行政学会、American Planning Association、Association of European Schools of Planning

博士(工学)



山本 五郎 准教授 (やまもと ごろう) 福祉社会
 研究領域: コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
 担当科目: 「原書講読研究」
 主な著書: 「ウィズダム英和辞典4版」(共著、三省堂)、「English on Screen: Learning Real English Through Erin Brockovich」(映画エリン・ブロコビッチで学ぶ実践英語の基本)(共著、金星堂)、「Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会-グローバル時代を考へる」(共著、南書堂)、「見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化」(共著、近代映画社)、「映画で学ぶ英語学-English Linguistics Through Movies」(共著、くろしお出版)、「Step Up With Movie English」(共著、金星堂)
 学会活動: 映画英語教育学会(支部役員)、英語コーパス学会、英語語法文法学会、大学英語教育学会、日本メディア英語学会、日本語用論学会

博士(学術)

福祉社会専攻

修士課程

Major in Social Policy and Community Development

本専攻では、一人ひとりのWell-beingの実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、コミュニティ・プランナー等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋) ※2020年4月よりカリキュラム変更予定。 ※科目名は予定です。

専門共通科目 (4単位以上を選択)

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法
- ・社会福祉学特論
- ・福祉社会データ解析
- ・地域共生社会特論

※各科目すべて2単位

専門展開科目 (14単位以上を選択)

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

【ソーシャルワーク系】

- ・ソーシャルワーク理論研究特論
- ・ソーシャルワーク実践研究特論
- ・生活問題特論

【システム・マネジメント系】

- ・保健医療福祉システム特論
- ・海外社会福祉研究
- ・非営利組織特論

【コミュニティ・デザイン系】

- ・地域文化特論
- ・地域空間学特論
- ・地方自治特論

※各科目すべて2単位

演習科目 (すべて必修12単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※◎数字は単位数

2020年度より市ヶ谷キャンパスで 受講できる科目が増えます!

コースワーク(講義)は市ヶ谷キャンパスにて夜間の開講科目を増やし、リサーチワーク(研究指導や発表会)は多摩キャンパスで行われます。さらに、長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えていますので、ご自身のライフスタイルに合わせて仕事を続けながら研究活動に取り組むことができます。

仕事をしながら通学する先輩 VOICE!

仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。



Message



▶ 教員

土肥 将敦 教授
研究領域:
ソーシャル・イノベーション、
社会的企業家、CSR、
企業と社会

本研究科は、「Well-being」を軸として、「社会福祉」、「まちづくり」を中心に最先端の学問領域を学修・研究できる研究科です。新しい学問領域だからこそ、そこにはまだ誰も着手したことのない「新しい問いかけ」や「新しいアプローチ」が必要になってきます。本研究科ではインターディシプリナリーな発想や文化に溢れているため、既存の枠組みにとらわれずに、柔軟な発想で社会の本質を見抜く力が養われるはず。多様なバックグラウンドを持った研究者が集うこのフィールドで、皆さんの「新しい挑戦」を待っています。



▶ 在学生

熊 佳玉 さん
2018年入学
江漢大学日本語学部

祖父が認知症になったのをきっかけに、在宅ケアにおけるホームヘルパーについて関心をもちはじめ、福祉専門に関わることとなりました。日本社会の高齢化問題への意識変化や政策変遷を参考にしながら中国の現状を研究しています。先生方から各視点でご助言をいただいで勉強する意欲や楽しさが日々増していきます。積極的な雰囲気の中で新しい自分と巡り合えることができ、福祉とは限らず、物事に対する態度も知らずに変わっています。指導教員のご指導より身に着けられた研究への熱意と生活への発見力を無駄にせず、社会に生かしていけたらと考えています。



▶ 修了生

草木 直輝 さん
2019年修了
相模原市役所

学部時代に所属していたボランティアサークルで抱いた疑問をもとに、「知的障害者の親からの自立」というテーマで研究に取り組みました。知的障害者が親元から自立する時期が遅れてしまうという課題に直面し、健常者と同じように学校卒業後しばらくして親から離れて生活していくためにはどうすれば良いのか。インタビュー調査を通してその要因を明らかにしました。2年間の研究で得られた若者支援に対する着眼点を活かし、今は児童に関する仕事に従事しております。目の前の出来事はもちろん、客観的に広い視野で支援の方法を考えていく姿勢は、修士に進学したからこそ得られたものと振り返ります。

臨床心理学専攻

Major in Clinical Psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

専門基幹科目 (全て必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- ・ 臨床心理基礎実習②
- ・ 臨床心理学特論④
- ・ 心理支援に関する理論と実践②
- ・ 臨床心理面接特論Ⅱ②
- ・ 心理的アセスメントに関する理論と実践②
- ・ 臨床心理査定演習Ⅱ②
- ・ 心理実践実習①
- ・ 臨床心理実習Ⅱ①

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受理面接、心理査定、心理面接を行う

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

1. 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目
・ 心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論
2. 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目
・ 認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論
3. 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探究する科目
・ 社会病理学特論・家族心理学特論・司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
4. 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目
・ 保健医療分野に関する理論と支援の展開・福祉分野に関する理論と支援の展開・産業・労働分野に関する理論と支援の展開・児童福祉特論・高齢者福祉特論
5. 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目
・ 教育分野に関する理論と支援の展開・グループ・アプローチ特論・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
・ 投影法特論・心の健康教育に関する理論と実践・力動的心理療法特論・比較心理療法特論・心理臨床演習・医療心理学特論

※科目は全て2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・ 論文研究指導④

※○数字は単位数

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験について
- 自己変容との関連から-
- ・ 内観療法における心理的変容のプロセス
- 愛着スタイルを中心に-
- ・ 入院森田療法患者の体験分析
- ・ 青年期の発達
- 子どもが両親から受ける影響の男女差-
- ・ アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的脆弱性と自尊感情
- 大学入学時からの変化に着目して-
- ・ 大学生の恥意識についての研究
- 対人恐怖性傾向と回避的傾向、及び心理的自立との関連から-
- ・ コラージュ場面における不快素材の用い方と防衛機制およびコーピングの関連
- ・ 自閉症スペクトラム児を持つ母親の障害受容
- 障害受容促進要因に関する研究-
- ・ 失恋からの回復過程の検討
- ・ twitter依存とメンタルヘルスとの関連について
- 愛着と自己愛からの検討-
- ・ 大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- ・ マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果
- 孤独に対する捉え方に着目して-
- ・ 心理学的ストレスプロセスにおけるレジリエンスが持つ効果に関する研究

Message



▶ 教員

関谷 秀子 教授

研究領域：児童青年精神医学、精神分析学

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教授陣が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院・クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意し、2018年4月からは公認心理師(国家資格)の受験資格取得に必要な科目を開講しています。本専攻では、これらの専門的・実践的な学びを通して、社会的ニーズに応えられる、心のケアの専門家としての公認心理師や臨床心理士の養成に取り組んでいます。多くの方々の積極的なチャレンジを期待しています。



▶ 在学生

向井 望さん

2018年入学
法政大学現代福祉学部
臨床心理学科

私は、PTSDやトラウマに興味があり、それら治療への適用が期待されている“セルフ・コンパッション”、つまり自分への思いやりについて研究を行っています。臨床心理学専攻にはさまざまな専門分野の先生が所属されており、幅広い視点から心理学を学ぶことができます。実習では実際の臨床の場を経験することができます。机上の学習だけでは理解が難しいことが体験を通すことで納得できるということが多くありました。みなさんも切磋琢磨しあえる仲間にもまれ研究に集中できる環境で、充実した2年間を過ごしてみませんか。



▶ 修了生

町山 美紗子 さん

2016年修了
社会福祉法人
桜ヶ丘社会事業協会
桜ヶ丘記念病院
診療部 臨床心理士

本学臨床心理学専攻では、研究室を超えて様々な分野の先生方からご指導をいただけるという恵まれた環境の中で、多くの学びの機会を得る為に主体的に行動する力が養われたと感じています。現在は医療機関で勤務し、様々なスタッフと共に幅広い病態の患者様に関わらせていただく中で、多職種で協働する面白さを実感しています。現場では力不足を痛感し悩むことも多いですが、修了後も相談に乗っていただける先生方との関係性に支えられ、臨床活動を続けることが出来ています。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in Social Policy, Community Development, Clinical Psychology

人間社会を構成する生活者のWell-beingを実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(Life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

必修科目

個々の研究課題に沿って、博士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・ 人間福祉特別演習Ⅰ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅱ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅰ | | |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅱ | | |

※各科目すべて2単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ Obsessive-Compulsive Disorder in Adults with Autism Spectrum Disorders Comorbidity: Examining Neuropsychological Features
- ・ アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- ・ 構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ・ 教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多角的研究 —教師Well-being尺度の作成—
- ・ 教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較研究 —子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に—
- ・ ソーシャルワーカーの自己生成過程における専門的自己の構築と解体 —中動態から生起する臨床体験—
- ・ 地域特性に応じた介護保険事業の効率性についての実証的研究

Message



▶ 教員

眞保 智子 教授

研究領域：若者支援論、
人的資源管理論、
障害者のキャリアデザイン

現代社会の諸問題の完全な解決への道は平坦ではありません。生(life)やwell-beingの概念の質を高める「実践で得た知」を理論と深淵な価値観とを統合し考察することがその第一歩と考えます。本専攻では、さまざま学術的関心とテーマから現代社会の諸問題に迫ろうとする方々に対し、各指導教員が手厚い研究指導・助言を行っています。研究は新たな知の発見／挑戦であり、そのプロセスは苦しくとも楽しいものです。学術的な成果からだけでなく、専門性を持った実践の現場で社会貢献に寄与する方々を教員一同お待ちしております。



▶ 在学生

小田 友理恵 さん

2017年入学
臨床心理士

臨床心理学における実践と科学の関係について研究を行っています。質問紙による量的調査とインタビューによる質的調査を、組み合わせて調査をする予定です。このテーマでの研究に際し、臨床と研究のどちらにも精通した先生方がいらっしゃる本学に進学しました。経験に裏打ちされた、広く深い視点からのご指導をいただいております。良い研究をするためにも臨床の研鑽が大切だと教わり、カウンセリング業務に励んでいます。また、本学には充実した施設と研究助成制度があり、大変恵まれた環境で研究させていただいています。



▶ 修了生

呉 世雄 さん

2013年修了 立命館大学
産業社会学部准教授

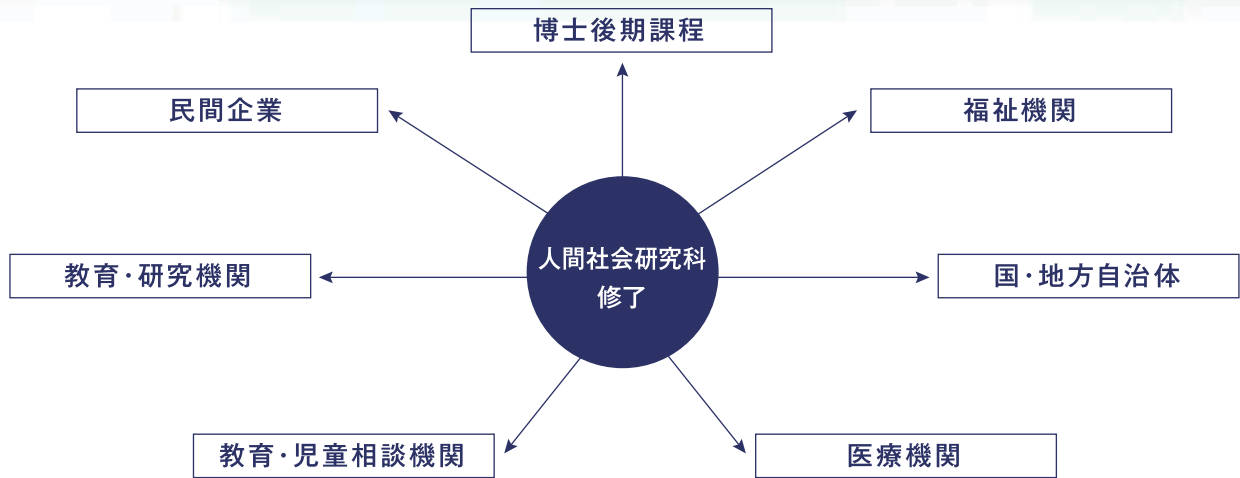
私は、韓国政府国費留学生として2010年に人間社会研究科に入学しました。福祉サービスの質や継続性を担保するための制度や実践について興味を持ち、福祉経営に関するテーマで博士論文を執筆し、現在は大学で教鞭をとっています。人間社会研究科の魅力は、少人数制による指導体制と、充実した研究支援体制だと思います。在籍の頃、研究が思うように進まない時もありましたが、その都度、指導教員はもちろん多くの先生方からの確かな指導を頂き、励まされたことが沢山ありました。親密な関係性のなかで結ばれた多くの先生方、先輩や後輩との絆は、今では心強い研究ネットワークとなっています。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去14年間分)

福祉社会専攻 ◎修士課程

・福祉機関	13名
・民間企業	15名
・進学(博士後期課程ほか)	11名
・公務員	5名
・独立行政法人	1名

・団体職員	4名
・社会人入学で修了後も在職	23名
・その他	20名
・研究生	5名
・教員	1名

臨床心理学専攻 ◎修士課程 「臨床心理士」資格取得者 2004~2017年度修了生 197名受験 192名合格

・医療機関(心理職)	62名
・医療機関	3名
・教育相談機関(心理職)	33名
・スクールカウンセラー	11名
・福祉機関(心理職)	17名
・公務員(含む心理職)	28名

・団体職員	8名
・民間企業(心理職・総合職)	9名
・児童福祉相談所関係(心理職)	17名
・進学(博士後期課程ほか)	7名
・大学学生相談室	3名
・その他	7名

人間福祉専攻(学位取得者29名) ◎博士後期課程

・私立大学教員	15名
・国立大学教員	1名
・私立大学研究員	4名
・独立行政法人研究員	1名

・医療機関(福祉職)	1名
・教員	1名
・公務員	5名
・団体職員	1名

※継続在職も含む

キャンパス紹介



◀臨床心理学専攻の学生が臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

